

にのみや気候市民会議

〈第3回〉

日時：令和6年8月25日（日）

午後1時30分～

場所：二宮町生涯学習センター ラディア
ミーティングルーム2



にのみや気候市民会議のスケジュール

	第1回 5月19日(日)	第2回 7月6日(土)	第3回 8月25日(日)	第4回 10月20日(日)	第5回 11月24日(日)
講師	江守 正多 氏 東京大学 未来ビジョン研究 センター教授	井上 岳一 氏 日本総合研究所 創発戦略センター エキスパート	勝田 悟 氏 東海大学 大学院 人間環境学研究科 教授	室田 憲一 氏 (ファシリテター) 東海大学 教養学部 人間環境学科教授	室田 憲一 氏 (ファシリテター) 東海大学 教養学部 人間環境学科教授
講演	気候変動問題の 全体像	CO2吸収源	CO2発生源	—	—
議論	ワールドカフェ ・会議の名称決め ・二宮町らしさ	ワークショップ ・CO2吸収源に関わ る提案	ワークショップ ・CO2発生源に関わ る提案	ワークショップ ・これまでの振り返り ・提案とりまとめ	ワークショップ ・提案とりまとめ ～投票

本日の流れ

ガイダンス

～ これまでの振り返り・気候変動に関するアンケート・区域施策編の骨子案 ～

講義

～ CO2の発生源について～

議論（話し合い）①

オブザーバー（事業者）からの情報提供

議論（話し合い）②

講評（勝田悟氏）

これまでの振り返り

2023年



二宮町
気候非常事態宣言

2024年



にのみや
気候市民会議



地球温暖化対策に
関する計画



自然環境に関する
計画等

自然環境についても取り扱う

前回のテーマ

緩和策

- ・省エネルギー対策
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・森林等の吸収源の増加による温室効果ガスの排出削減



適応策

- ・熱中症予防をする
(こまめな水分摂取、エアコンを適切に使用)
- ・災害に備える
(ハザードマップなどを確認しておく)



気候変動に関するアンケートの設問内容

設問数：10問（属性3問、認知2問、関心1問、行動3問、自由筆記1問）



認知

- ・ 「緩和策」と「適応策」の認知
- ・ 情報入手手段



関心

- ・ 関心度と実践の繋がり



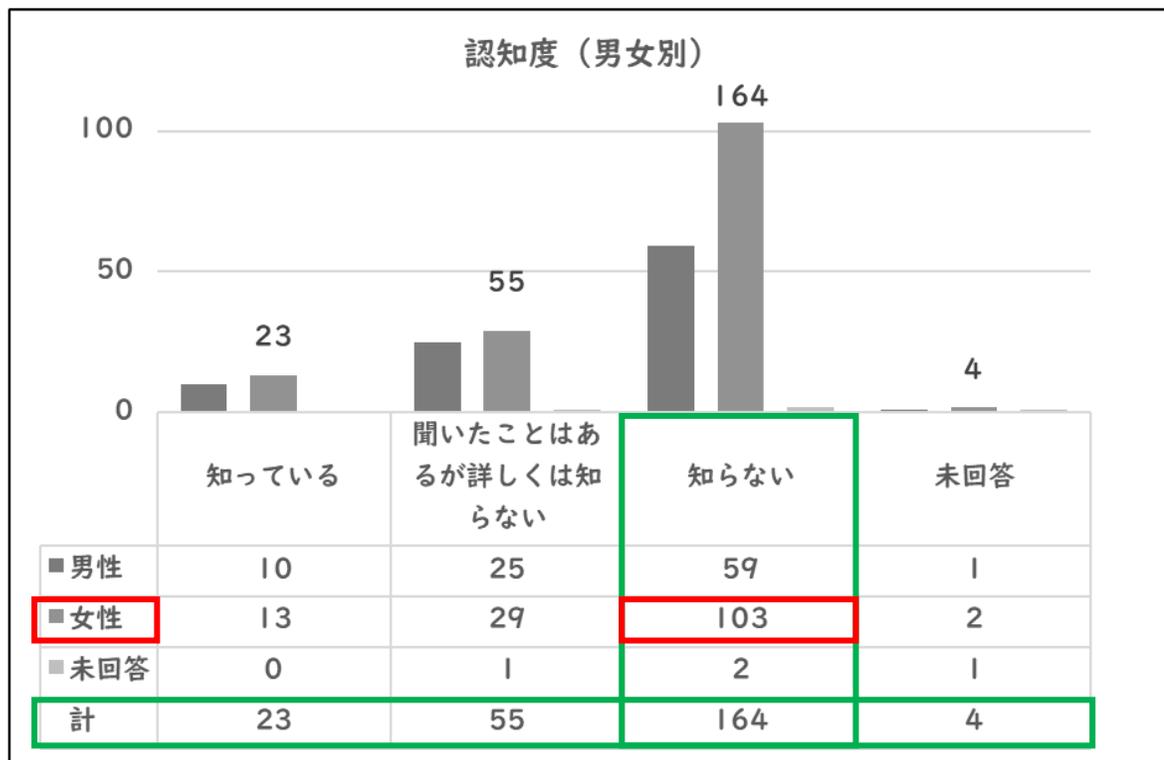
行動

- ・ 実践している取り組み内容
- ・ 取り組みを実施していない理由
- ・ 今後、実践してみたい取り組み

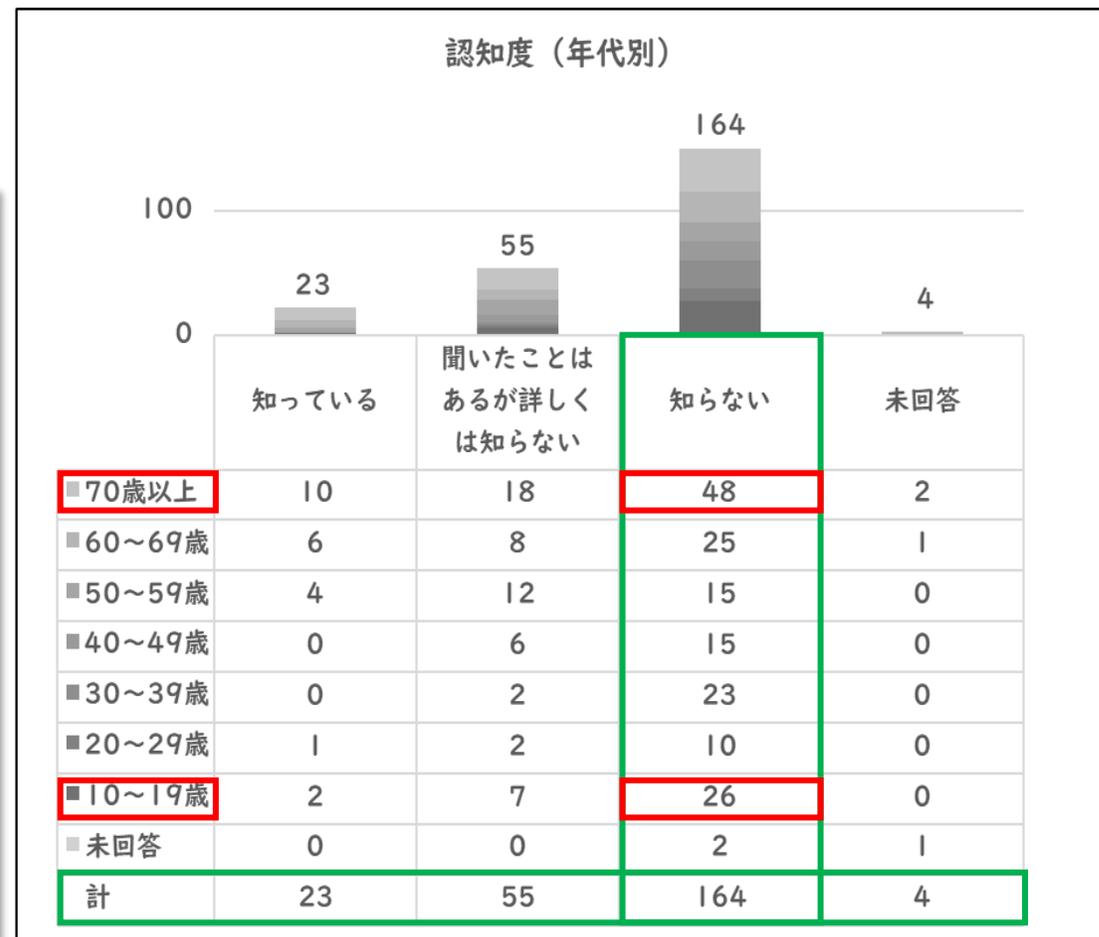
気候変動に関するアンケート集計結果の見方

認知度に関する設問

男女別



年代別



地球温暖化対策に関する計画とは

地球温暖化対策実行計画

名称	策定	対象
事務事業編	義務 (2017年3月策定)	二宮町の公共施設 行政職員
区域施策編	努力義務 (2025年3月策定予定)	二宮町全体 町民・事業者・行政職員

区域施策編の構成

1 背景・意義・基本的事項

- ・区域施策編策定の背景・意義
- ・区域の特徴（自然的社会的条件及び各主体の特徴）
- ・計画期間、推進体制

2 排出量の推計・要因分析

- ・区域の温室効果ガスの排出状況

3 計画全体の目標

- ・区域施策編の目標

4 排出抑制等に関する対策・施策

- ・区域の各主体に期待される対策
- ・地方公共団体が実施する施策

5 PDCAの流れ

- ・区域施策編の実施

CO2発生源の部門・分野

・産業部門

※製造業、建設業・鉱業、農林水産業から排出される量



・業務その他部門

※産業部門の産業から排出される量



・家庭部門

※一般家庭から排出される量



・運輸部門

※自動車、鉄道、船舶から排出される量



・廃棄物分野

※一般廃棄物から排出される量



対策・施策の例

省エネルギー行動



建築物の高い省エネ性能

森林整備



木材利用

ソーラーシェアリング

再生可能エネルギー電力への切り替え



家電や設備の省エネ化

環境教育

ごみの減量化・資源化

再生可能エネルギーの導入

エコドライブ

水素に関する取り組み



エネルギーの地産地消

環境負荷の低い交通・運輸への転換



物流効率の改善

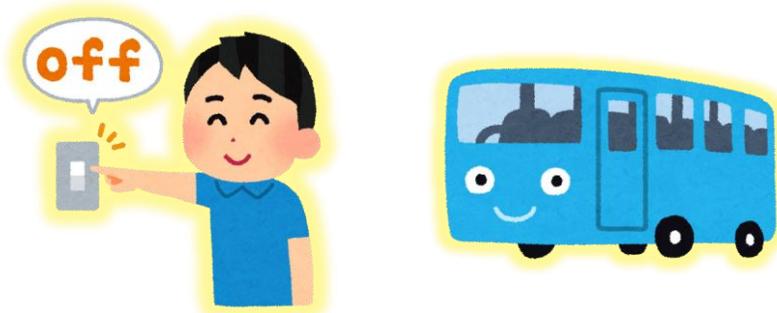
シェアサイクル



今回のテーマ

緩和策

- ・省エネルギー対策
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・森林等の吸収源の増加による温室効果ガスの排出削減



適応策

- ・熱中症予防をする
(こまめな水分摂取、エアコンを適切に使用)
- ・災害に備える
(ハザードマップなどを確認しておく)



講義

～ CO2の発生源について～



講師 勝田 悟 氏



プロフィール

東海大学 大学院 人間環境学研究科教授

人文・社会 新領域法学 環境法

環境・農学 循環型社会システム 環境効率向上
環境政策、環境配慮型社会 環境法政策

論文

- ・エネルギー政策と環境政策の競合
- ・中小企業の環境経営への取り組み
- ・環境経営の進め方

議論（話し合い）①

～ どのような町にしたいか・住みたいか～

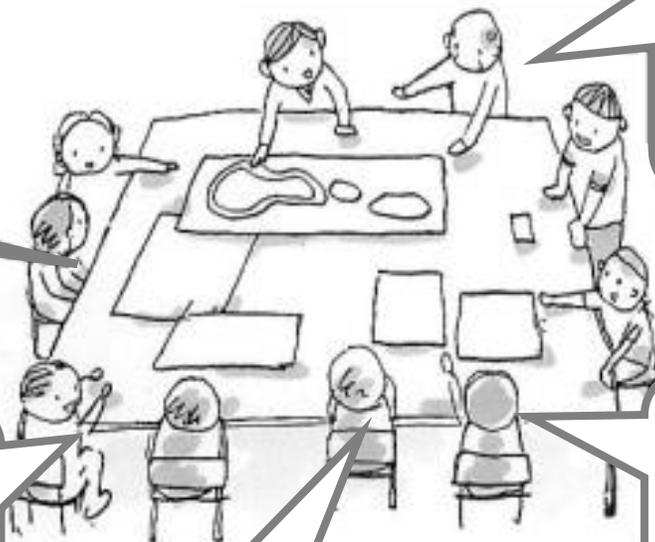


話し合いのルール

①意見を
否定しない

③発言の
責任を問わない

⑤専門用語や難しい
言葉はできるだけ使
わない



②話を
最後まで聞く

ただし、話は短くまとめる
ようにしましょう！

④模造紙に
思ったことを書く

- ・誤字は気にしない
- ・メモのような役割



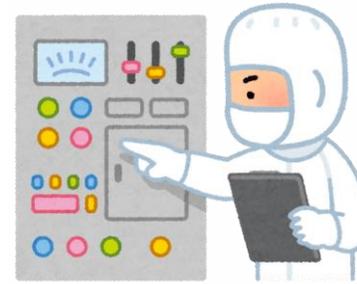
情報提供①

～ 柳川乳業株式会社 ～

柳川乳業株式会社

Q.現在、取り組んでいる温室効果ガス排出の削減策は？

- ・電灯のLED化やインバーターの導入による電力の削減
- ・高効率ボイラの設置や断熱、漏れの減少による燃料の低減



Q.今後、取り組みたい温室効果ガス排出の削減策は？

- ・10~12年ほどで資金回収ができるのであれば、太陽光発電設備を導入したい。



情報提供②

～ ザ・ビッグ 二宮店 ～



ザ・ビッグ 二宮店

Q.現在、取り組んでいる温室効果ガス排出の削減策は？

- ・節電や節水、クールビズなどによる省エネ対策
- ・太陽光発電などのクリーンエネルギーの導入、脱プラ対策による削減策



Q.取り組む中での課題は？

- ・企業、個人の努力や心がけて行える部分以外で、設備投資が必要な部分についての即時対応が課題
- ・省エネ対策に関する仕組みの標準化が課題

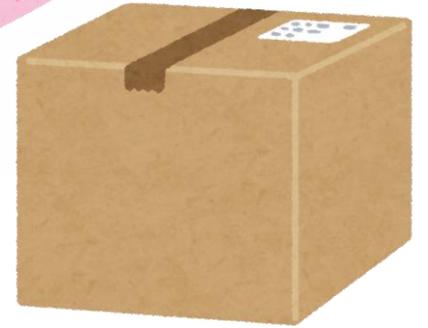
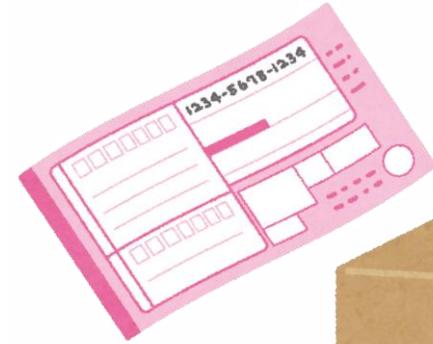
Q.今後、取り組みたい温室効果ガス排出の削減策は？

- ・様々な取り組みが考えられるが、それぞれに関連費用が発生するため、費用対効果と実施が可能なものについて、適宜判断し実施したい。



情報提供③

～ ヤマト運輸株式会社 ～



ヤマト運輸株式会社

Q.現在、取り組んでいる温室効果ガス排出の削減策は？

- ・エコドライブに関する教育の強化
- ・スーパーフルトレーラー導入による物流他社との幹線共同輸送
- ・自社便によるフレイター輸送
- ・カーボンオフセットの実施
- ・第3者機関による検証意見書の取得

Q.今後、取り組みたい温室効果ガス排出の削減策は？

- ・2030年までに全国23,000台のEV車の導入と810の拠点での太陽光発電設備の設置を予定。
- ・カーボンオフセットの継続。

Q.取り組む中での課題は？

- ・置き配達を進めているが、対面受取を希望する方も多く、受取者の不在による再配達が課題。

※宅配ボックスや受取サービスを推進し、地域連携をしながら課題解決に向け取り組んでいる。



情報提供④

～ 神奈川中央交通株式会社 ～



神奈川中央交通株式会社

Q.現在、取り組んでいる温室効果ガス排出の削減策は？

- ・EVバスやハイブリッドタクシーの導入による温室効果ガスの排出削減。



Q.今後、取り組みたい温室効果ガス排出の削減策は？

- ・営業車両の電動化に伴い、電気の使用量が増えるため、再生可能エネルギーの創出を取り組みたい。

※具体的にはPPAによる太陽光発電設備の設置を検討している。

Q.取り組む中での課題は？

- ・EVバスは導入に係る費用が既存のディーゼルバスと比べ高額なことが課題。
- ・最適な充電時間をコントロールするためのエネルギーマネジメントシステムの構築が課題。



議論（話し合い）②

～ CO2の発生源対策でできること・求められること～



話し合いのルール

①意見を
否定しない

③発言の
責任を問わない

⑤専門用語や難しい
言葉はできるだけ使
わない



②話を
最後まで聞く

ただし、話は短くまとめる
ようにしましょう！

④模造紙に
思ったことを書く

- ・誤字は気にしない
- ・メモのような役割

講評（勝田悟氏）



次回開催に向けた連絡事項



この後の取りまとめの手法について

1. 事務局とファシリテーターで分類

2. 有志が参加して分類

3. 第4回で分類